

体操教室

毎年10月の下旬から11月の下旬にかけ、体操教室を行っています。(今年度は全国へき地教育研究大会が本校を会場にして行われましたので、12月中旬に最終回を実施しました。)

本年度も講師として、市内で体操の教室をされ地域にお住いの方にお世話になりました。1・2・3年生と4・5・6年生に分かれて「跳び箱、マット、鉄棒」など、体操(器械運動)の基本的な運動に挑戦しました。

わんわんだッシュやブリッジなど、ミニゲームを取り入れながらの楽しい準備運動や、基本的な前転や後転、開脚跳びなどをしました。4・5・6年生では、基本の技から側転、そしてロンダートや台上前転、倒立前転、首はね跳びなど、高度な技に挑戦していきました。最初は難しかった技も、講師の先生のご指導により、だんだんできるようになっていきました。できるようになると、子どもたちは喜びと自信に満ち溢れ、新しい技にもチャレンジすることができました。また、ここで学んだことを体育でも続けていくことで、器械運動の技術や意欲を高めることができました。



いつも最後の会では『ミニ発表会』を行っています。発表会では、これまでに学習したマット運動や跳び箱などを今までの練習の成果を披露しました。子どもたちはやる気いっぱい運動していました。子どもたちは毎年、体操教室を楽しみにしています。これからも「ふるさと母子」の地域の先生として来ていただき、つながりを大切にしていきたいです。

